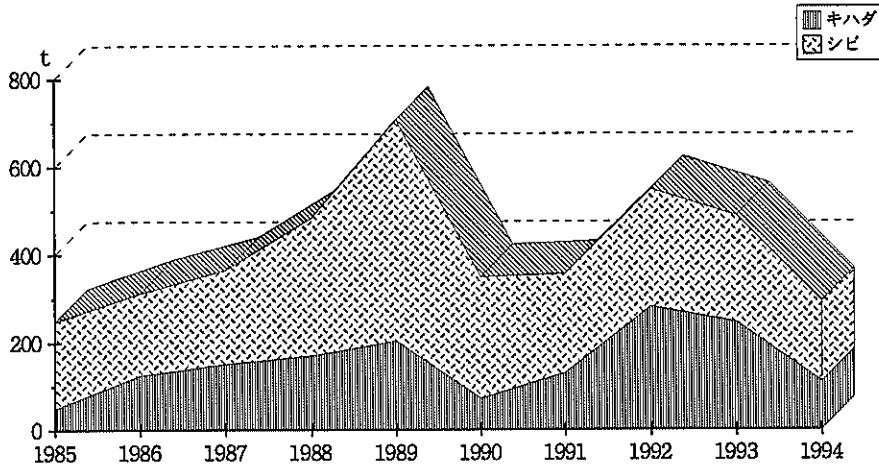


# パヤオ情報

第2号 1994年12月 沖縄県水産試験場

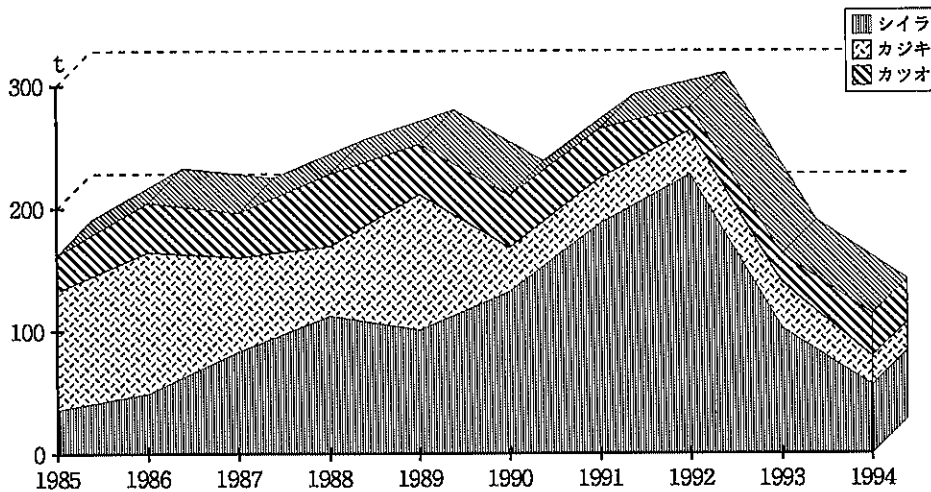
今年のパヤオ漁は悪かったと言われていますが、沖縄本島南方海域のパヤオに出漁する糸満漁協、港川漁協、知念漁協、沖繩市の漁獲量を整理してみました。その結果、パヤオ漁の主要な対象魚であるキハダ（10kg以上）、シビ（10kg未満）、シイラの今年11月までの漁獲量は、例年と比べてたしかに少なかった模様です。

## キハダ、シビ生産量の推移（沖縄島南）

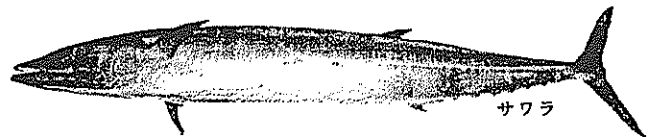


沖縄本島南方海域のパヤオにおけるキハダ、シビの漁獲量は、1992年には550t近くあったが、1994年には300t程度に減少しています。

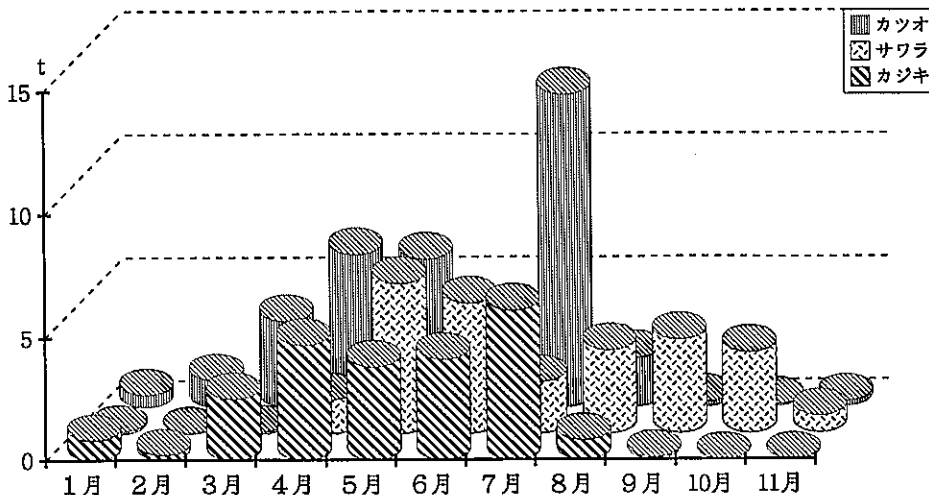
## シイラ、カツオ、カジキ生産量の推移



シイラの漁獲量は、1992年まで急激に増えてきましたが、93年、94年は急に減少しました。漁獲量は減少傾向にあります。

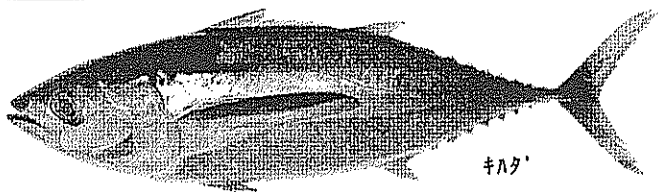


## カツオ、カジキ、サワラ月別生産量

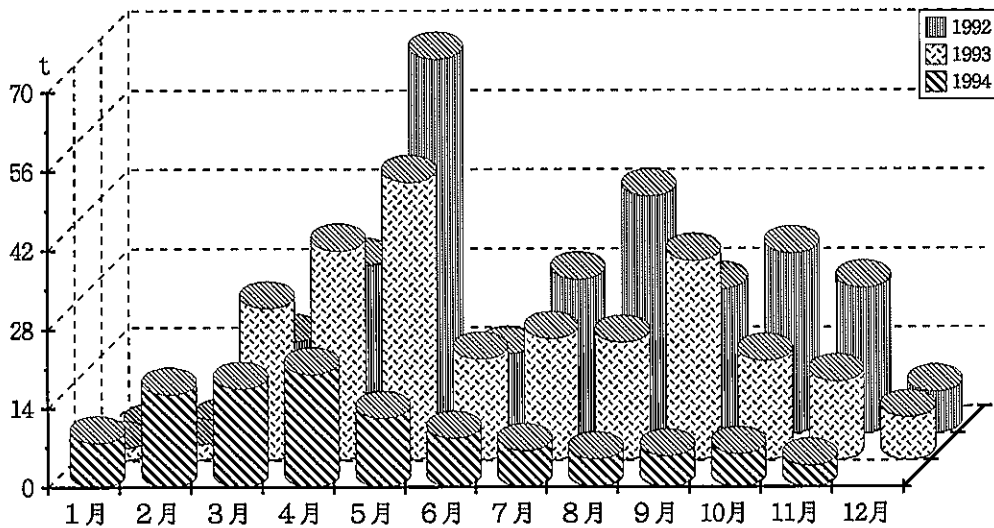


1994年では、カツオとカジキは春から初夏にかけては多く漁獲され、サワラは秋から冬にかけては多く漁獲されました。



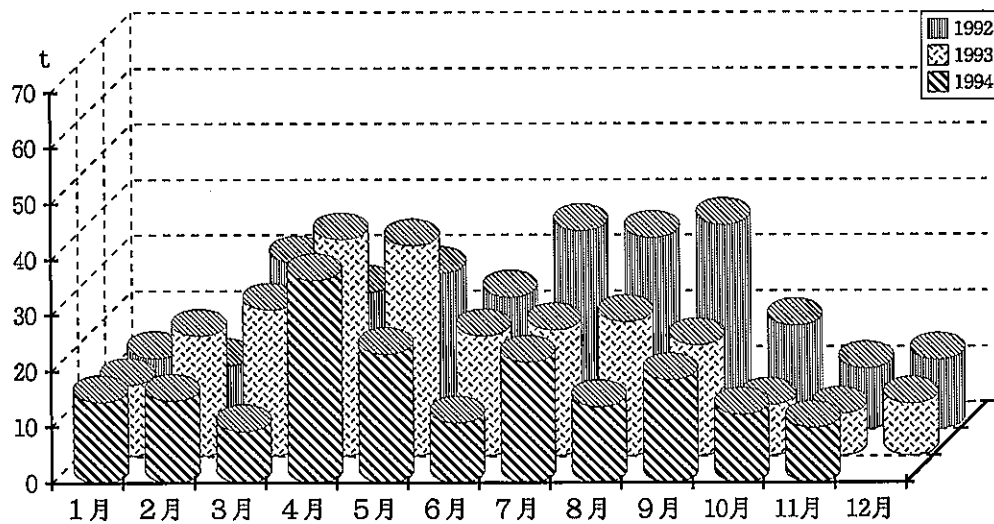


### 月別キハダ生産量の推移



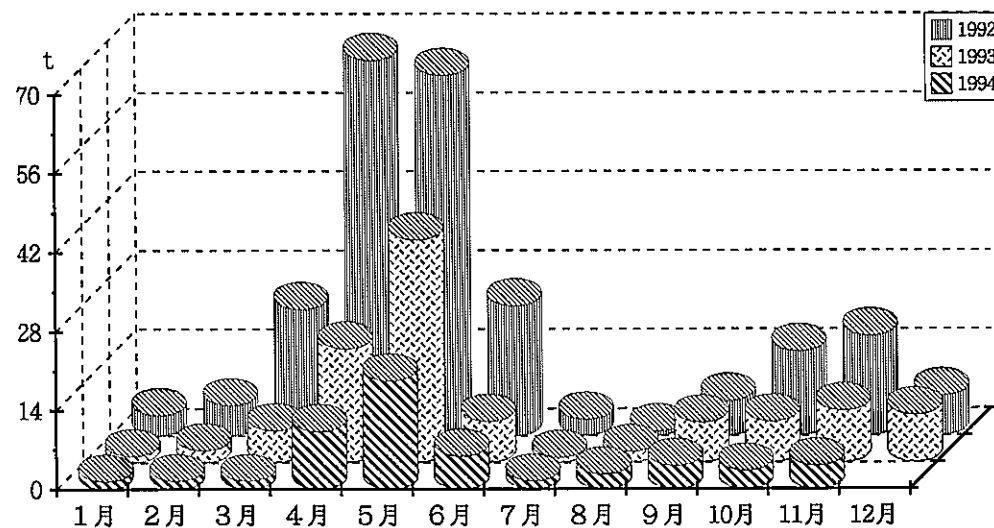
は、8月、10月、12月の漁獲量は、例年より多いが、過去年の10月、11月の漁獲量は、例年より少ない。

### 月別シビ生産量の推移



例年より多いが、過去年の10月、11月の漁獲量は、例年より少ない。

### 月別シイラ生産量の推移



通常10月、11月の漁獲量は、例年より多いが、過去年の10月、11月の漁獲量は、例年より少ない。

魚の絵は「方言でし  
らべる沖繩の魚図鑑」  
横井謙典を利用